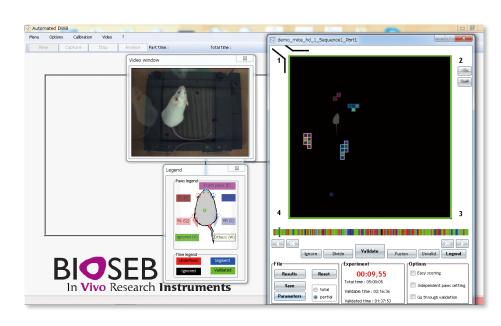


体重負荷測定裝置

Dynamical Weight Bearing System





◯ この装置だからできること

動物の四肢の重量を個別に測定することができます。

フリームービングの状態で試験が行え、動物へのストレスを抑えることができます。

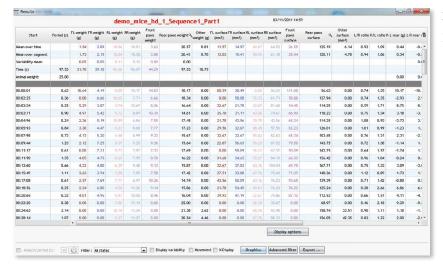
USB カメラと圧力データをシンクロさせることにより、四肢の場所を確認できます。

動物の向きの自動検出機能により解析時間を短縮できます。

測定データの「フィルター機能」により、レアリングのみや四肢がすべてついている状態のみなどの姿勢 に応じたデータの抽出ができます。

型式	品名	構成品
BIO-DWB-M	マウス用体重負荷測定システム	マウス用ケージ、インターフェース、マウス用センサーパッド、ソフトウェア
BIO-DWB-R	ラット用体重負荷測定システム	ラット用ケージ、インターフェース、ラット用センサーパッド、ソフトウェア
BIO-DWB-DUAL	マウス・ラット用体重負荷測定システム	マウス用ケージ、ラット用ケージ、インターフェース、マウス用センサーパッド、ラット用センサーパッド、ソフトウェア
BIO-DWB-M-C	マウス用センサーパッド (交換用)	•
BIO-DWB-R-C	ラット用センサーパッド(交換用)	-





解析画面 1

動物の動きごとに、様々なパラメータ を算出



解析画面 2

動物の姿勢(レアリング、四肢での設置) ごとにグラフ表示

フリームービング下での小動物の四肢の重量を個別に測定

「Incapacitance テスト」と呼ばれる体重負荷測定装置は痛覚試験ではよく知られております。Von Frey 試験などのほかの痛覚試験との相対性が見られますが、動物の体位に依存する部分が問題になることもありました。

Bioseb 社が開発した Weight Bearing システム(体重負荷測定装置)は、フリームービングにおいての小動物の四肢の重量を個別に測定します。

データ記録の際に、ビデオ動画をシンクロさせて記録することで、再解析や動作再生が容易にでき、試験者が動画を見ながら、 四肢の検出を確認できる利点があります。

各脚の平均圧力から痛みを評価したり、各脚の時間配分などが測定できます。

記録データをエクスポートすることにより、再解析や再生を別の PC でも行うことができます。

仕様

	BIO-DWB-M マウス用	BIO-DWB-R ラット用		
動物ケージ全体サイズ (WxDxH)	17x21x22cm	30x30x41cm		
動物チャンバー部サイズ (WxDxH)	11x11x20cm	25x25x39cm		
インターフェース電源	USBより電源供給	USBより電源供給		
センサー精度/解像度(g)	1/0.2	3/0.8		

バイオリサーチセンター株式会社

本 社:〒461-0001 名古屋市東区泉二丁目28-24(ヨコタビル4F) 東 京:〒101-0032 東京都千代田区岩本町一丁目7-1(瀬木ビル2F) 大 阪:〒532-0011 大阪市淀川区西中島六丁目8-8(花原第8ビル) 福 岡:〒813-6591 福岡市東区多の津一丁目14-1(FRCビル6F)

製品開発課:〒168-0074 東京都杉並区上高井戸一丁目8-20(第1島田ビル8F)

TEL(052)932-6421 TEL(03)3861-7021 TEL(06)6305-2130 TEL(092)626-7211 TEL(03)6379-7023

www.brck.co.jp

sales@brck.co.jp FAX(052)932-6755 FAX(03)3861-7022 FAX(06)6305-2132 FAX(092)626-7315 FAX(03)6379-7024

